

令和7年度 福島学院大学大学院内部進学選抜 小論文問題

(消費庁と財務省の公的な図表を基に回答を求めた)

投資詐欺について、以下の図表を参考にしながら、あなたの知るところを述べてください。たとえば、一つの回答としては、投資詐欺が若者に広がっている理由やその対策についてなど、あなたなりの考えを述べてください。それだけではなく、自分なりに考えた他の観点からも、あなたの知るところを自由に述べてください。800字から1000字程度にまとめてください。

出題意図

大学院においては、心理臨床の実践において、研究の実践においてデータに基づいた分析、考察が重要となります。本試験は、示されたデータをもとに的確な情報を取り出し、それをもとに論展開ができるか、相手に伝わるように表現できるかどうかを確認します。

令和7年度 福島学院大学大学院心理学研究科臨床心理学専攻 A日程入試問題

【問1】

事例研究とは、一事例（N=1）または少数事例（small-N）について、各事例の個別性を尊重し、その個性を研究していく方法です。この研究方法の倫理的な問題点を2つ、100字程度で述べて下さい。

【問2】

International Classification of Disease (ICD) と Diagnostic and Statistical Manual of Mental Disorders (DSM) の違いを2つ、100字程度で述べて下さい。

【問3】

下記の臨床心理学に関する用語について説明してください。（文字数指定なし）

- (1) グレート・マザー (great mother)
- (2) マターナル・デプリベーション (maternal deprivation)
- (3) モーニングワーク (mourning work)
- (4) 偽りの自己 (false self)
- (5) 妄想的一分裂的態勢 (paranoid-schizoid position)

【問4】（文字数指定なし）

- (1) 「転移」と「逆転移」の概念について、あなたの経験を交えて説明してください。

なお、経験には臨床面接場面のみでなく、日常的な他者との交流を含みます。

- (2) ①まず、Erikson, E.H. の人格発達論では青年期の心理・社会的危機としてどのような発達課題があるとされるか（対立が起こるとされるか）を記載してください。

②次に、なぜ青年期にそのような心理・社会的危機が起こると考えられるか、その理由について自分の体験も踏まえて説明してください。

出題意図

本試験では、大学院における学修を充実したものにするための基礎知識について問うことを意図し出題しています。問1は臨床心理学的研究法に関するもので、その意義と同時にリスク・課題・限界について説明できるかについて問うたものです。問2は現代における精神医学的診断における2大基準についての問題で、対象とする範囲や目的などそれぞれの作成意図があります。これらについて知っていただきたく出題しました。問3および問4は精神分析学や分析心理学などの立場に関する基礎知識について問うものです。単なる用語の理解だけではなく、回答者なりの理解を自分の言葉で説明してもらうことで、その深さを問うています。

令和7年度 福島学院大学大学院心理学研究科臨床心理学専攻 B 日程入試問題

【問1】統計学に関する以下の問いに答えてください。

- (1) 統計学はデータから特徴や傾向を考察するための学問です。臨床心理学において統計学を用いることの意義について、200字以内で述べてください。
- (2) 統計学における「分散」について説明してください。(文字数指定なし)
- (3) 「記述統計」と「推測統計」の違いを説明してください。(文字数指定なし)

【問2】以下の問いに答えてください。

「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律（障害者差別解消法）」で求められている合理的配慮（reasonable accommodation）について説明してください。ただし、以下に示す語群にある語を文中になるべく多く採用して記載してください。また、学校における具体的な想定事例を用いて説明してください。(文字数指定なし)

<語群>

- | | | | |
|-----------|-------------|------------|---------|
| a. 社会モデル | b. 社会的障壁の除去 | c. 非過重負担 | d. 機会平等 |
| e. 本質変更不可 | f. 障害者権利条約 | g. 事前的改善措置 | |

【問3】以下の問いに答えてください。

- (1) 以下の症候群の中から1つ選択し、それぞれについて①症状・特徴、②原因（なりやすい人）、③あなたが考える予防・回復法について記述して下さい。(文字数指定なし)

燃え尽き症候群（burnout syndrome）、無気力症候群（apathy syndrome）、
青い鳥症候群（bluebird syndrome）、ピーター・パン症候群（peter pan syndrome）、
ふれあい恐怖症候群（commu-phobic tendency）、空の巣症候群（empty nest syndrome）

- (2) 児童虐待に関して、①4つの種類、②発生要因、③こどもに及ぼす精神的な影響についてそれぞれ説明してください。(文字数指定なし)

【問4】下記の臨床心理学に関する用語について説明してください。4)～6)に関しては、用語の説明に加えて、あなたが思いつく例も示して下さい。(文字数指定なし)

- (1) レジリエンス resilience
- (2) 生物-心理-社会モデル biopsychosocial model
- (3) 交流分析 transactional analysis（3つの自我状態）
- (4) 二重拘束理論 double bind theory（用語の説明に加えて例を提示してください）
- (5) 円環的因果律 circular causality（用語の説明に加えて例を提示してください）
- (6) リフレーミング reframing（用語の説明に加えて例を提示してください）

出題意図

本試験では、大学院における学修を充実したものにするための基礎知識について問うことを意図し出題しています。問1は心理統計法に関するもので、概念や手法について深く理解しているかについて問うたものです。問2は現代において社会的に重要な概念である合理的配慮について、そのポイントを理解しているか確認するために出題しました。問3および問4は臨床心理学における様々な用語について説明する問題ですが、単なる用語の理解だけではなく、例や支援方法についても問うことで、概念を自分のものとしているかを問うています。